

广播教材

中级日语

下 册

周炎辉 主编

高等教育出版社

广 播 教 材

中 级 日 语

下 册

周炎辉 主编

高 等 教 育 出 版 社

内 容 提 要

本广播教材《中级日语》分上、下两册出版。这是一套提高阶段的教材，既是《日语入门》的续篇，但又自成体系，供学过《日语入门》或其他基础教材的听众和读者学习，目的是通过九个月至一年的教学，使学习者掌握一千二百个左右的单词、词组、惯用型等，巩固和扩大词法、句法知识，达到能阅读中等难度的日文书刊的水平，同时具备初步的听说能力。

本书为《中级日语》下册，全书共七课，有单词、词组、惯用型七百个左右。根据各课特点，书中编有单词、课文、语法、日译汉技巧、文章分析、综合问题解题方法以及形式多样的练习，书后附有课外读物、课文及读物的参考译文、练习答案及总词汇表等。

本书可作各地广播教材使用，亦可供日语业余教学及自学者使用。

责任编辑 赵德雍

广播教材
中级日语
下册
周炎辉 主编

高等教育出版社出版
新华书店北京发行所发行
河北省香河县印刷厂印装

*

开本850×1168 1/32 印张 6 字数145,000

1985年10月第1版 1985年10月第1次印刷

印数00,001—25,000

书号9010·0209 定价1.25元

《中级日语》下册说明

在系统学习过《中级日语》上册词法的基础上，下册重点学习句法、文章分析法等。书中有单词、词组、惯用型等约七百个。第一课至第五课系统学习句法知识，并每课编有“日文中訳の要領”（日译汉技巧），供课外自学用；第六课编有文章分析法，第七课编有综合题的做法，以便学生学完词法、句法以后，学会全面、正确地分析和理解一篇文章；第七课之后编排了六篇文章，可供课外阅读，也可作为补充教材。

本书的课文和课外读物都选自原文，由于教学的需要，个别地方略有增删。原文出处列于书末，在此谨向这些原文的作者表示感谢和歉意。

本套教材由周炎辉教授主编，下册由袁邦柱执笔编写。本书承林胜兴副教授审阅；在湖南大学任教的日本籍教师田中宽先生对本书提了许多宝贵意见，编者一併谨志谢忱。

编 者

1984年4月10日

本书分析句子成分所用符号：

主语 谓语 — 宾语 ~~~~~
补语 ~~~~~ 定语 () 状语 []
独立语 ……

目 次

第一課

| | |
|------------------|----|
| 単語 | 1 |
| 本文:衣食住 | 3 |
| 文法:文の成分 | 5 |
| 日文中訳の要領(一) | 9 |
| 練習 | 10 |

第二課

| | |
|---------------------|----|
| 単語 | 13 |
| 本文:化学と物理学との関係 | 15 |
| 文法:陳述の様式 | 17 |
| 日文中訳の要領(二) | 19 |
| 練習 | 20 |

第三課

| | |
|------------------|----|
| 単語 | 23 |
| 本文:機械との共存 | 25 |
| 文法:一 文の種類 | 28 |
| 二 単文の分析 | 28 |
| 日文中訳の要領(三) | 30 |
| 練習 | 32 |

第四課

| | |
|---------------------|----|
| 単語 | 35 |
| 本文:避雷針の發明 | 37 |
| 文法:重文と有属文 | 39 |
| 日文中訳の要領(四)(五) | 42 |
| 練習 | 44 |

第五課

| | |
|------------|----|
| 単語 | 47 |
| 本文: 營養の秋 | 50 |
| 文法: 合文 | 51 |
| 日文中訳の要領(六) | 53 |
| 練習 | 54 |

第六課

| | |
|------------|----|
| 単語 | 58 |
| 本文: 抗議する義務 | 60 |
| 文法: 文章の分析 | 62 |
| 練習 | 67 |

第七課

| | |
|-----------|----|
| 単語 | 75 |
| 本文: 総合練習例 | 77 |
| 総合問題の解き方 | 78 |
| 練習 | 83 |

課外読物

| | |
|----------------------|-----|
| 一 千曲川のスケッチ (島崎藤村) | 92 |
| 二 文化としての数学 (遠山啓) | 97 |
| 三 具象以前 (湯川秀樹) | 101 |
| 四 火の発見と化学の芽ばえ (崎川範行) | 104 |
| 五 都市に美学こそ(上) (木間義人) | 109 |
| 六 都市に美学こそ(下) (木間義人) | 112 |
| 课文译文 | 116 |
| 课外读物译文 | 123 |
| 练习答案 | 132 |
| 《中级日语》惯用型索引 | 149 |
| 总词汇表 | 152 |
| 参考书目举要 | 183 |

第一課

単語

- | | | | | |
|----|----------|-----------------|--------|-----------|
| 1 | いしょくじゅう | ③②〔衣食住〕 | (名) | 衣食住 |
| 2 | じゅうきょ | ①〔住居〕 | (名) | 住所,住宅 |
| 3 | くにぐに | ②〔国国〕 | (名) | 各国 |
| 4 | きこう | ①〔気候〕 | (名) | 气候 |
| 5 | ふうぞく | ①〔風俗〕 | (名) | 风俗 |
| 6 | それぞれ | ②③ | (副・名) | 各自,分別 |
| 7 | もちいる | ①③〔用いる〕 | (他一) | 使用;任用;采纳 |
| 8 | ろうどう | ①〔労働〕 | (名・自サ) | 劳动 |
| 9 | いぜん | ①〔以前〕 | (名) | 以前,过去 |
| 10 | しょくば | ③①〔職場〕 | (名) | 工作场所,工作岗位 |
| 11 | やはり | ② | (副) | 仍旧,照旧 |
| 12 | ようふく | ①〔洋服〕 | (名) | 西服,西装 |
| 13 | ようしき | ①〔様式〕 | (名) | 样式,方式 |
| | せいかつようしき | 〔生活様式〕 | | 生活方式 |
| | けんちくようしき | 〔建筑様式〕 | | 建筑式样 |
| 14 | なんぽう | 〔南方〕 | (名) | 南方 |
| 15 | ふじん | ①〔婦人〕 | (名) | 妇女,女子 |
| 16 | いろとりどり | ①〔色とりどり〕 | (名) | 五颜六色,各式各样 |
| 17 | サラサ | ②①〔葡 saraça・更紗〕 | (名) | 印花布 |
| 18 | こし | ①〔腰〕 | (名) | 腰 |

| | | | | |
|----|-----------|----|--------|----------------|
| 19 | はで | ② | 〔派手〕 | (形动)华丽,鲜艳 |
| 20 | いろ | ② | 〔色〕 | (名) 颜色 |
| 21 | ちょうわ | ① | 〔調和〕 | (名・自サ)调和,和谐 |
| 22 | りゆう | ① | 〔理由〕 | (名) 理由 |
| 23 | ねったい | ① | 〔熱帯〕 | (名) 热带 |
| 24 | ふうど | ① | 〔風土〕 | (名) 风土,风水 |
| 25 | とくちょう | ① | 〔特徴〕 | (名) 特色,特征 |
| 26 | アジア | ① | 〔Asia〕 | (名) 亚洲 |
| 27 | ふるく | ① | 〔古く〕 | (副・名)古老,陈旧,古代 |
| 28 | しゅしょく | ① | 〔主食〕 | (名) 主食 |
| 29 | ぼくちく | ① | 〔牧畜〕 | (名) 畜牧 |
| 30 | ひつじ | ① | 〔羊〕 | (名) 羊,绵羊 |
| 31 | にく | ② | 〔肉〕 | (名) 肉,肌肉 |
| 32 | かこむ | ① | 〔囲む〕 | (他五)围,包围 |
| 33 | しまぐに | ② | 〔島国〕 | (名) 岛国 |
| 34 | ふくしょく | ① | 〔副食〕 | (名) 副食 |
| 35 | このむ | ② | 〔好む〕 | (他五)爱好,喜欢 |
| 36 | あじ | ① | 〔味〕 | (名) 味道,滋味 |
| 37 | あっさり | ③ | | (副・自サ)清淡,素气,爽快 |
| 38 | こい | ① | 〔濃い〕 | (形) 浓的 |
| 39 | しゅうきょう | ① | 〔宗教〕 | (名) 宗教 |
| | しゅうきょうじょう | | 〔宗教上〕 | 宗教上, 宗教方面 |
| 40 | しょくもつ | ② | 〔食物〕 | (名) 食物,食品 |
| 41 | さける | ② | 〔避ける〕 | (他一)避开,逃避 |
| 42 | えいきょう | ① | 〔影響〕 | (名・自サ)影响 |
| 43 | かぜとおし | ①⑤ | 〔風通し〕 | (名) 通风 |
| 44 | かべ | ① | 〔壁〕 | (名) 墙壁 |
| 45 | あつい | ① | 〔厚い〕 | (形) 厚的 |

| | | | | | |
|----|-------|----|--------|--------|---------------------------------------|
| 46 | たけ | ① | 〔竹〕 | (名) | 竹 |
| 47 | かみ | ② | 〔紙〕 | (名) | 紙 |
| 48 | とりはずし | ① | 〔取り外し〕 | (名) | 卸下, 折开 |
| 49 | しっけ | ③① | 〔湿気〕 | (名) | 湿気 |
| 50 | かんそう | ① | 〔乾燥〕 | (名・自サ) | 干燥 |
| 51 | ちっとも | ③ | | (副) | (与否定式谓 语呼 应) 一点儿 (也不 …) 毫 (不…) |

本 文

衣 食 住

人間の生活になくてはならないものは「衣」、「食」、「住」の三つです。

「衣」は着るもの、「食」は食べるもの、「住」は住居のことです。

国によって言葉が違うように、衣食住もその国の気候、風俗、習慣などによってそれぞれ違います。日本人が昔から長い間用いてきた「衣」は着物です。現代では、着物は労働に不便なため以前ほどは用いられなくなりましたが、それは職場においてだけで、家庭に帰れば大部分の人がやはり着物を着ています。これは、着物のほうが洋服より日本の気候や住居や生活様式に適しているからです。

南方の国々の婦人は色とりどりのサラサを腰に巻いています。はでなサラサの色は、強い太陽の光によく調和して、なかなか美しいものです。しかし、これも美しいというだけの理由で用いられているのではなく、やはり熱帯の気候、風土、住居によく適しているからなのです。

次に「食」は衣食住の中でも特に人間の生活と深い関係があ

り、国国によって特徴があります。アジア人は古くから主に農業によって生活してきたので、その大部分は米を主食にしています。これに対して、ヨーロッパ人は主に牧畜によって生活してきたので、牛や豚や羊などの肉をよく食べます。また、日本のような海に囲まれた島国では、副食として魚を多く食べます。気候や風土のために、好む味も国によって非常に違っています。例えば、熱帯の人人はからい味を好みますし、日本人はあっさりした味、ヨーロッパ人や中国人は反対に濃い味を好みます。

また、宗教上の習慣などによって、ある食物を避けるといったこともあります。

「住」に大きな影響を与えるのは、その国の気候です。暑い国の住居は窓を広くして風通しをよくし、建て方も簡単なのに対して、寒い国では窓も狭く、壁も厚くして、外部からの冷たい空気を防ぎます。

日本の家は、だいたい木、竹、紙などで造られ、床を高くして、たたみを敷きます。また、各部屋は取り外しのできる「ふすま」や「障子」で仕切られています。このような建築様式は、夏は暑くて湿気が強く、冬はその反対に乾燥する日本の気候に適しているからです。

本文の注釈

1 国国によって言葉が違うように、衣食住もその国の気候、風俗、習慣などによってそれぞれ違います。／如同语言因国家不同而异一样，衣食住也因各国气候、风俗和习惯的不同而异。

慣用型“…によって違う”接体言之后，可以译为“因…不同而异”。

2 それは職場においてだけで、家庭に帰れば大部分の人がやはり着物を着ています。／这种情况只限于在工作场所，回

到家里多数人还是穿和服。

惯用型“…において”接体言后构成状语，相当于格助词“で”、“に”的作用，用来表示时间、地点、场合。意为“在…”、“关于…”。在这一句中“…において”后面省略了动词。

3 暑い国の住居は窓を広くして、風通しをよくし、…寒い国では窓も狭く、壁も厚くして…

“形容词连用形(词尾く)+する”相当于一个他动词，前面可以带宾语。

文 法

文の成分 (句子成分)

一 主語(主语)

在说明“谁是什么”，“谁怎么样”，“谁干什么”的句子中，表示“谁”的部分就叫主语。

主语构成法：

体言・体言性词组 } +が (可以用提示助词は、も等顶
用言・句子+形式体言 } 替)。例如：

1 暖かい空気と冷たい空気が対流を起こします。 / 冷暖空气产生对流。

2 日本では西欧風の石造りが少ないのも，石材資源が少なかったからに違いない。 / 日本缺少西式的石头房子，无疑是因为缺少石头资源的缘故。

二 述語(谓语)

说明主语“是什么”，“怎么样”，“干什么”的成分叫谓语。

谓语是日语句子的中心，一般出现在句末。

谓语构成法：

(一) 用言(终止形，命令形，中顿式谓语可以用连用形)。例

如：

3 はち飼いさんは春から夏の花を追って北海道まで行く。／养蜂人自春至夏追赶着花期，一直到北海道。

4 集まれ！右へならえ！／集合！向右看齐！

(二) 用言+助动词或补助成分。例如：

5 東京へ出てきてから、仕事が忙しくてめったに帰れません。／自从离家到东京以后，我工作很忙，难得回家。

6 南方の国々の婦人は色とりどりのサラサを腰に巻いています。／南方国家的妇女把五颜六色的花布缠在腰间。

(三) 体言·体言性词组+指定助动词(或推量助动词らしい，比况助动词ようだ等)。例如：

7 わたしの古里は信州の小さな村です。／我家乡是信州的一个小村庄。

8 海は鏡のようで、波が一つなかった。／海面如镜，水波不兴。

9 向こうから来る人は鈴木さんらしい。／对面来的人好像是铃木。

(四) 主谓词组。例如：

10 冬は夜が長く、昼が短いです。／冬天夜长昼短。

一个句子中可以不只有一个谓语，可以有两个或两个以上的谓语，这些谓语可以是并列关系或递进关系。例如：

11 日本の家はだいたい木、竹、紙などで造られ、床を高くして、たたみを敷きます。／日本的房屋一般用木材、竹子、纸等建造，把地板铺得很高，上铺地蓆。

三 目的語(宾语)

表示他动词所表现的动作的直接对象或直接结果的成分叫宾语。

宾语构成法：

(一) 体言・体言性词组 } +を(可以用提示助词は、も
用言・句子+形式体言} 等顶替)。例如： -

12 ボルタが一七九九年湿電池を発明した。／伏特于1799年发明了湿電池。

13 きみがこんな所に勤めていることを両親が知ったら、驚くだろう。／如果父母亲知道你在这种地方工作，会感到惊异吧。

四 補語(补语)

补充用言语义的成分叫补语。补语的标志是补格助词。例如：

14 一階からエレベーターに乗ると、一分間で高さ150メートルの大展望台まで上ることができます。／从一楼乘电梯用一分钟就可以登上150米高处的大瞭望台。

15 水が音をよく伝えることは、昔から海の深さを測るのに利用されてきました。／水能很好地传声，人们早就利用来测量海洋深度。

五 連体修飾語(定语)

修饰限定体言的成分叫定语。

由于被修饰的体言可能出现在主语、补语、宾语和谓语等各种成分中，所以定语不可能是独立的句子成分，它永远被包含在其他成分中。

定语构成法：

(一) 体言・体言性词组+の。例如：

16 この別荘は(山のふもとの林の)中にあるので、涼しくて(家の中)にいます(夏の)暑さを忘れてしまうほどです。／这幢别墅位于山麓的树林中，所以感到特别凉爽，呆在屋子里好像把酷暑忘得一干二净了。

17 (わたしの)うちから(日本アルプスの)山山が見えます。／从我家可以眺望日本阿尔卑斯的重重山峦。

(二) 连体词(位于被它限定的体言前)。例如：

18 (この)交通の問題も、東京に住む人にとって(大きな)悩みです。／这种交通问题，对住在东京的人来说也是一个很大的烦恼。

19 (あくる)日、浦島太郎は早朝から海へ出て、釣りをしていました。／次日，浦島太郎从早晨就去海边钓鱼了。

(三) 用言・用言性词组・句子(用言连体形)。例如：

20 (病気の祖母に(明るい)希望と喜びを与えてくださった)あの(立派な)看護婦さんのようにわたしはなりたいです。／我想成为那样优秀的护士。她给了我生病的祖母以美好的希望和欢欣。

21 (友達が遠くにいる)時もその様子が知りたいでしょう。／当朋友居住在远方时，也想知道他的情况吧。

六 連用修飾語(状語)

修饰限定用言或句子的成分叫状语。状语只有在被它修饰的用言是句子的谓语时，才是一个独立的句子成分。

状语构成法：

(一) 副词。例如：

22 近ごろ天气が暖かくなったので、野菜は[ずいぶん]伸びています。／近来天气转暖了，蔬菜长得很快。

23 朝食をして[すぐ]出掛けるつもりだったが、[突然]電話が来たので、行くのをやめました。／打算吃完早饭马上出去，突然来了电话，所以不出去了。

(二) 形容词・形容动词的连用形。例如：

24 日本の地形は南から北に[細長く]伸びています。／日本地形是从南向北狭长地伸展着。

25 超音波は海中の魚を見つけるのに[盛んに]利用されています。／超声波在探测海上鱼群方面得到广泛应用。

(三) 时间名词、方位名词、数量词。例如：

26 ^{ひらいずみ}平泉は〔十二世紀のころ〕東北地方の文化の中心地でした。／平泉镇在十二世纪时是东北地方的文化中心。

27 東京タワーは高さが〔三百三十三メートル〕あります。／东京塔高三百三十三米。

(四) 用言+接续助词·副助词。例如:

28 錬金術はエジプトから〔ギリシア・アラビアを経て〕ヨーロッパへ伝わった。／炼金术从埃及经希腊和阿拉伯传向欧洲。

29 あの人はそばにいても〔聞えないほど〕小さな声で話します。／他用小得在旁边也听不到的声音说话。

(五) 体言·体言性词组+副助词。例如:

30 わたしは〔一年ばかり〕日本語を勉強しました。／我学了一年左右的日语。

31 今年の夏は〔去年ほど〕涼しくありません。／今年夏天不如去年凉爽。

七 ^{どくりつご}独立語(独立语)

独立于句子结构之外的成分叫独立语。独立语一般用来表示感叹,打招呼,应答或连接两个句子。例如:

32 王^おさん、あなたも行きますか。／小王,你也去吗?

33 日本の国土は広くない。しかし、人口は少くない。／日本国土不大,但人口不少。

にちぶんちゆうやく ようりよう
日文中訳の要領(一)

日汉两种语言在语法和词汇等方面都各有不同的特点。日译汉时,译文不但要忠实于原文的思想和风格,而且要符合汉语的规范,这就要讲究一些翻译技巧。

(一) 词义的选择

日语同其他语言一样也有一词多义的现象，日译汉时对于日语的多义词要根据上下文以及词与词之间的搭配关系，选用恰当的词义。例如：

1 歴史を調べてみないと，分からないことが多い。／不研究历史，许多事情就不得而知。

“調べる”是一个多义词，常用的意义有“调查、审查、检查”；“搜查、盘查、盘问”；“研究(文件)等”。上面的译文选用了“研究”这一词义。

2 a 電子計算機を用いればすぐ答えが出ます。／如果采用电子计算机，答案马上就会出来。

b わたしの意見は用いられませんでした。／我的意见没被采纳。

c 会社ではかれを重く用いています。／公司在重用他。

d 古いものを直して用いる。／把旧的修理好使用。

“用いる”的词义是“有效地利用事物或人员的效能、才能等(为某种目的服务)”，可译作“采用”；“采纳”；“任用”；“录用”；“使用”等。上面一组例句分别选用了“采用”，“采纳”，“任用”和“使用”等几个词义。

練習

一、例文に従って文の成分を分析しなさい。

例文：(日本のような)(海に囲まれた)島国では〔副食として〕魚を〔多く〕食べます。

1 わが国の工業はすでにかかなりの規模を持つようになりました。

2 大きなドームにすっぽり覆われた，広い運動場の向こうに見える高い建物が学校です。